

2024年10月16日

関電不動産開発株式会社

 **GOOD DESIGN AWARD 2024**

**「2024年度グッドデザイン賞」 2プロジェクトが受賞**

「関電不動産八重洲ビル」・「シェアリア京都御所南」

関電不動産開発株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：福本恵美）（以下、当社）が手掛ける「関電不動産八重洲ビル」および「シェアリア京都御所南」の2プロジェクトが、本日、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2024年度グッドデザイン賞」を受賞しましたのでお知らせいたします。当社が手掛ける物件としては、2020年度から5年連続の受賞となります。また、「関電不動産八重洲ビル」は当社が開発するオフィスビルとして初の受賞であり、「シェアリア京都御所南」は2020年度受賞「シェアリア京都山科」、2021年度受賞「シェアリア京都嵯峨嵐山」に続き、京都における分譲マンション「シェアリア」として3件目の受賞となります。

当社は今後も、人々の暮らしやビジネスの場が豊かになるような安全・安心で快適な商品・サービスを提供し、「持続可能な未来の実現」に貢献してまいります。

## 1. 受賞プロジェクト

### （1）関電不動産八重洲ビル

受賞部門：建築（オフィス・産業施設の建築・環境）

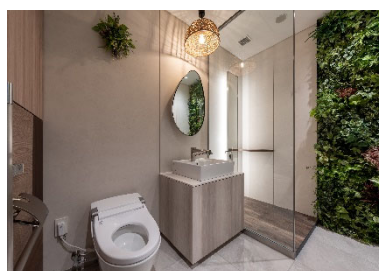
受賞者：関電不動産開発株式会社、大成建設株式会社



■外観



■オフィスキッチン



■オールジェンダートイレ

関電不動産八重洲ビルは、東京駅至近に建つ次世代型オフィスビルです。過去に当社が手掛けてきたオフィスビルでのワーカーアンケート等から得られた知見を活かし、フリーアドレスやABW (Activity Based Working)、リモートワークなど働き方の多様化をふまえた「ビルまるごとワークプレイス」の実現に挑戦しました。専用部へのオフィスキッチンやプライベートテラスの実装、+αのニーズに応えるオールジェンダートイレ、気分転換やストレッチなど様々なシチュエーションで活用できる基準階トイレ、人感センサーと連動した設備自動制御（空調・照明）等、ワーカーの快適性や創造性の向上、コミュニケーション活性化に繋がる仕掛けをビル内に多数取り入れています。

### <審査委員の評価コメント>

コロナ禍を経て、働く環境の質はますます重要度が上がっている。リモートワークではなく、わざわざオフィスに来る意味は何なのか、多くの企業が課題意識を持っているだろう。テナントオフィスビルに入居する際に、理想のオフィスはあってもハードルとなるのはオフィスビルそのもののハードの仕様だ。特に給湯機能の位置や、リラックス・コミュニケーションスペースとしての外部空間は、内装設計だけではどうにもならない。ここでは、過去の経験や調査から、何がオフィスに必要とされているかを分析し、オフィス区画の中にキッチンスペースを配置し、そこに面してテラスを設けるなど、実空間に反映させている。これからのテナントオフィスビルの一つのスタンダードを提示できているとして評価した。

### <物件概要>

物件名称：関電不動産八重洲ビル

所在地：東京都中央区京橋一丁目11-1

交通：JR各線「東京」駅徒歩7分、都営地下鉄浅草線「宝町」駅徒歩4分、東京メトロ銀座線「京橋」駅徒歩5分、東京メトロ東西線「日本橋」駅徒歩6分、東京メトロ日比谷線「八丁堀」駅徒歩7分

敷地面積：1,352.39㎡

延床面積：13,490.51㎡

基準階面積：827.58㎡

構造規模：鉄骨造・一部鉄筋コンクリート造 地上13階建・地下1階

設計：大成建設株式会社 一級建築士事務所

施工：大成建設株式会社

竣工：2022年5月

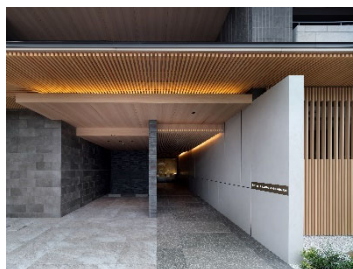
## (2) シェリア京都御所南

受賞部門：建築（中～大規模集合住宅）

受賞者：関電不動産開発株式会社



■外観



■エントランス



■共用ラウンジ

シェリア京都御所南は、京都御所の南西に位置し、北側隣地を含め古い町家が点在する地域に所在するマンションです。近隣の低層建築物への圧迫感を低減させる形態にするとともに、周辺環境と調和した、連続した町並みを形成させるデザインを目指しました。「千本格子」をデザインコードとし、1階外壁から軒裏、エントランスホールの天井まで一貫したデザインにしています。天井の格子はレベル差を設け立体感を表現するとともに、天然の檜材を使用することでエントランスホールは檜の香りが漂う上質な空間となっています。

<審査委員の評価コメント>

本集合住宅は、1,2階に設けられた深い軒庇が特徴的であり、軒先をシャープに見せるためのディテールにはこだわりが感じられる。千本格子と軒天の木色を差し色として、全体をモノトーンでまとめた外観は、京都御所周辺の景観に配慮したものとなっている。一方、隣地境界部に設けられた塀については、京都らしい街並みの形成という観点からは再考の余地があるのではないだろうか。建築本体のデザインだけでなく、外構に関しても丁寧な検討を行い、さらなるデザインの向上が図られることを期待している。

<物件概要>

物件名称：シエリア京都御所南  
所在地：京都市中京区釜座通丸太町下る柵屋町 155 番地 2  
交通：京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅徒歩 5 分  
敷地面積：624.79 m<sup>2</sup>  
延床面積：1,703.01 m<sup>2</sup>  
構造規模：鉄筋コンクリート造・地上 5 階建  
総戸数：18 戸  
間取り：1LDK+S～3LDK  
住居専用面積：55.58 m<sup>2</sup>～115.31 m<sup>2</sup>  
土地権利：所有権  
設計：株式会社東洋設計事務所  
施工：要建設株式会社  
竣工：2023 年 9 月

2. 本ニュースリリース配付先

大阪建設記者クラブ、国土交通記者会

以上